

文系探究コース紹介

静岡県立韮山高等学校

文系探究コースは2年次の文理選択から分かれ、文系クラスの1つです。設置されて4年目になる県下唯一の文系探究を目的としたコースです。地域（ローカル）のことから国際社会（グローバル）のことまで学ぶ、グローバルな視点で探究学習を行います。

1 文系探究コースの特徴

(1) 本校文系探究コースの行事

伊豆半島研修

地域の実情や史跡を知るため、湯ヶ島にある伊豆近代文学博物館、松崎の旧依田邸、土肥金山（土肥マリン観光株式会社）、戸田造船郷土資料博物館等をバスツアーにより地域研修を行います。

伊豆半島の少子高齢化の中で、町の存続のために工夫している行政の施策や現状を知り、自らに置き換えて問題を探究します。



サイエンスダイアログ

日本の研究所や大学で研究している外国人学者を招き、英語のみの講義を行います。人文科学や社会科学の最新の知見を学ぶことができます。



英語語学研修

静岡大学や TOKYO GLOBAL GATEWAY 等を研修の場所とし、「ディスカッション」をテーマに、ペアやグループで英語を使ってのやり取りを楽しみます。



(2) 「探究」(課題研究)

2年生の時、週1時間の授業として設けています。同じ興味や関心をもつ小グループに分かれ、1年間、自ら決めたテーマに沿って、研究をすすめます。

ある年の研究タイトルは以下のとおりでした。

「昔話にみられる日本人や伊豆の人々の精神構造に関する一考察」(国語1班)

「高校生が行うプレゼンテーションの効果的な方法とは」(国語2班)

「戦国の梟雄」とされた北条早雲に迫る！」(地歴1班)

「葦山代官江川坦庵の功績と評価について」(地歴2班)

「伊豆市活性化」(公民1班)、「観光型“Izuko”からMaaSを考える」(公民2班)

「校則と社会の歴史の相関から葦山高校の生徒自治を考える」(公民3班)

「語彙から現代社会を見つめる」(英語1班)、「世界から見た日本」(英語2班)

「小説『伊豆の踊子』の英訳を通して効果的な表現方法を探る」(英語3班)



2 文系探究コース修学旅行

(1) シンガポール・マレーシア

文系探究コースは国際理解を念頭にシンガポール・マレーシアを修学旅行コースとしています。英語による模擬国連や、マレーシアの農村訪問、シンガポール大学見学を行います。



(2) コロナ禍の修学旅行

沖縄を訪問し、平和学習やアメリカ人宅へのショートホームステイを行い、マリンスポーツや美ら海水族館などの観光を楽しみました。

